

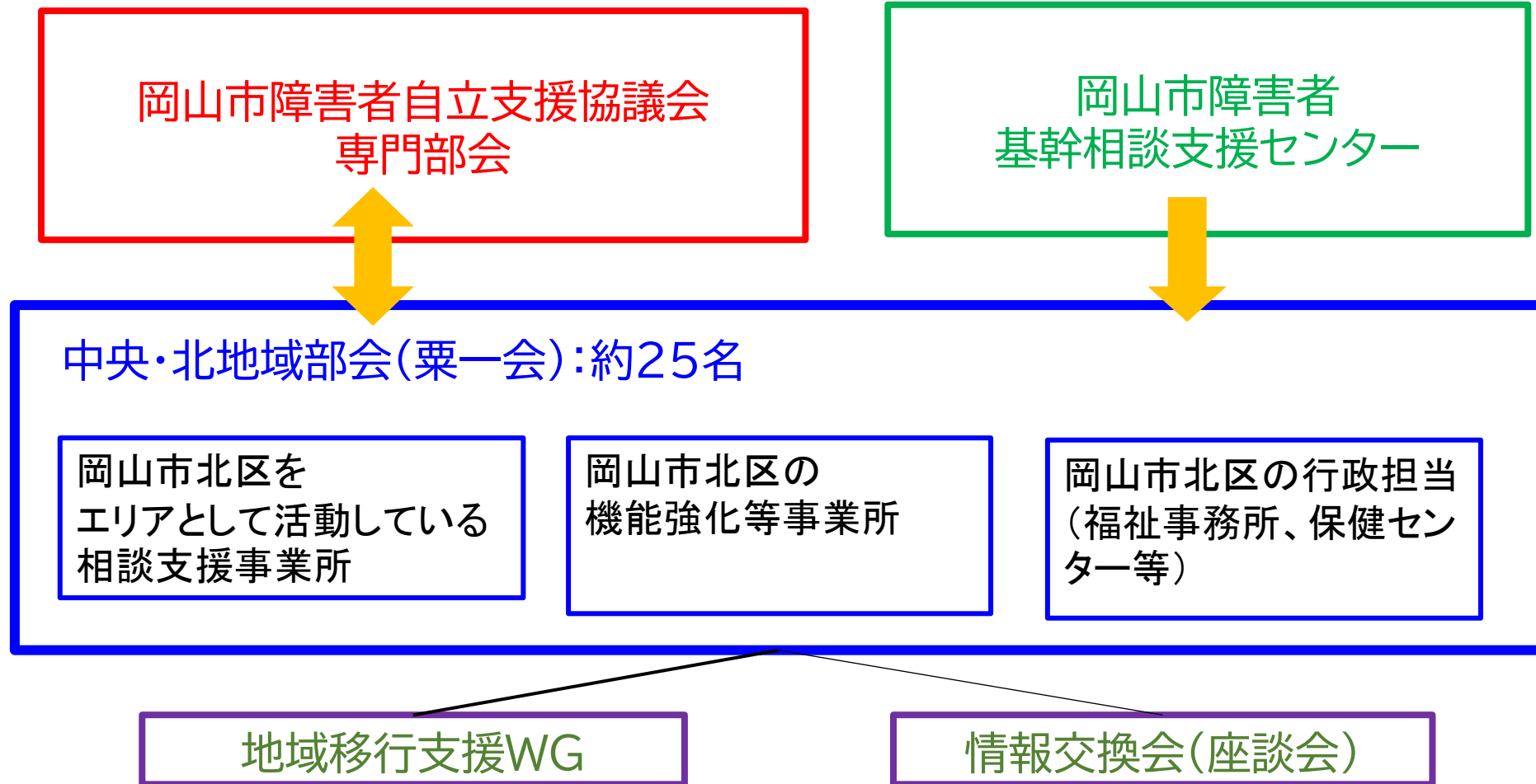
# 中央・北地域部会 (粟一会)

## 令和5年度 活動報告

障害者生活支援センターこら～れ:杉山 ゆい  
相談支援センター鹿田:川上 俊輔



# 中央・北地域部会(粟一会)の構成



# 開催について

種別	開催ペース・場所	R5年度実績
定例会	毎月第3木曜日 13:30~15:30 北ふれあいセンター メンタルサポートルーム 研修等はオンライン参加も可	12回開催
地域移行支援WG	毎月第4(金)14:00~15:30 岡山県精神科医療センター	7回開催
情報交換会 (座談会)	5月・8月・11月の第4木曜日 13:30~15:30 北ふれあいセンター メンタルサポートルーム	3回開催

## ■研修会

### ① 『依存症について』（9月）

講師:佐藤 嘉孝氏(岡山県精神科医療センター 作業療法課)

### ② 『性暴力・DV・虐待被害者の理解とトラウマインフォームドケア』（1月）

講師:中井 志穂氏(岡山県精神科医療センター 精神科認定看護師)

## ■勉強会(7月)

『地域共生社会の推進と総合相談支援体制づくり』について

岡山市社会福祉協議会 相談支援包括化推進員 小林氏・長畑氏

## ■GSV

- 8月:難聴と自閉症をもつ女児の今後の方向性について
- 12月:介護サービス、障害サービスともに十分な支援者が入っているが、金銭管理が不十分で安定した生活が営めていない夫婦のケース

## ■地域課題……課題収集(5・9月)・検討(6・10月)

- 児童についての課題(保育所等訪問がスムーズにいかない／放デイ等の事業所が地域にない、あっても定員オーバーで利用できない／支給量が足りない)
  - 教育部会との連携。短期入所の利用。福祉人材の確保について障害福祉計画へ盛り込む。働く女性を支援する団体の活用。福祉サービス以外の活動場所(学童など)を検討する。
- 災害・避難所についての課題
  - 日中活動の場を暫定的に避難所に設定できないか。協議会に災害WGの設立の提案。
- 当事者会の運営についての課題
  - 活動が形骸化していないか、継続意思の確認。他の当事者会とコラボ。

## ■各専門部会の情報共有

## ■日中サービス支援型共同生活援助評価

- ・12月の地域部会で実施
- ・ソーシャルインクルーホーム岡山建部町(3回目)
- ・ソーシャルインクルーホーム岡山門前(1回目)

## ■基幹相談支援センターとの連携

- ・オブザーバー参加
- ・相談支援に必要な情報提供

## ■情報交換会

- ・新規事業所が経験年数のある事業所に実務についてのテクニックを教えてもらえる場。
- ・なぜ相談員になったのかなど、定例会では話すことのない話題を通して交流ができています。

## ■LINEグループ

研修・イベント情報

△△GH、  
女性1名空室があるそうです

※個人情報には配慮しています

# ■地域移行支援WG

## ●参加事業所

岡山市こころの健康センター、岡山市障害者基幹相談支援センター、岡山保護観察所、岡山パブリック法律事務所、相談支援機能強化事業所、相談支援事業所 等

## ●開催月(参加者数)

5月(26) 6月(23) 7月(22) 9月(6) 11月(11) 1月(22) 3月(7)  
各14:00~15:30

## ●振り返り

- 今年度は「地域移行支援に関する知識の共有」を目的とした研修企画に注力した  
(①地域移行支援の概要 ②地域移行支援連携パス ③ピアサポーターの活用 ④居住支援)
- 他WG等へも周知を行い平均23名の参加があった
- A病院に対して地域移行の取り組みができるようになった  
入院者の退院意欲喚起に向けた支援として、WGメンバーが交流会などの取組みを定期開催
- 新規参入事業所が少なく、WG参加者が固定化しつつあることが課題

## ■成果

- ・地域部会であがった課題が専門部会へ共有され、現状やその後の展開が報告される流れが見えてきた。
- ・コロナ流行が落ち着いてきたため定例会のハイブリッド開催を参集型開催としたが、参加者数は変化がなかった。

## ■課題

- ・不参加事業所の参加促し。
- ・GSVのケース提供者がない。
- ・地域課題収集・検討に時間をしっかりとれなかった。